340005-Z

使用の前にこの添付文書をよく読むこと。

**2013年11月改訂（第8版）
*2009年8月改訂（第7版）

体外診断用医薬品

製造販売届出番号 09A2X10001000010

クラスⅠ細菌検査用シリーズ　薬剤感受性（一般細菌・ディスク法）キット

KBディスク®‘栄研’

（15℃以下）

【全般的な注意】

1．本製品は体外診断用医薬品であり、それ以外の目的には使用できない。

2．治療のための抗菌薬の選択は、他の検査結果や臨床症状を考慮して総合的に判断し、担当医師が行うこと。

3．添付文書に記載された内容に従い使用すること。それ以外の方法についての保証はできない。

＊4．使用する機器の取扱説明書をよく読んでから使用すること。

【形状・構造等（キットの構成）】

KBディスク®‘栄研’は、直径6.35mmの円形ろ紙に抗菌薬を含有させ、乾燥したものである。薬剤の種類はろ紙面に印刷された略号（最後の51枚目は斜線印刷）で表示してある。

製品一覧は別表に示したとおりである。

【使用目的】

細菌の各薬剤（別表）に対する感性及び耐性を判定する。

＊【測定原理】

本製品は、Kirby-Bauer法によるディスク拡散法を測定原理としている[1), 2)]。

この方法は、Clinical and Laboratory Standards Institute（CLSI）が実施基準を設定し、その後、改訂を重ねて現在に至っている[3), 4)]。

【操作上の注意】

1．測定試料の性質・採取法

1）一夜培養した純培養菌を被検菌として使用する。

＊2）寒天平板上の集落から直接被検菌液をつくる場合は、非選択培地（血液寒天培地等）から釣菌する。選択培地で培養した菌株は使用しないこと。

3）被検菌液を調製する際、菌液が濃すぎるときは、滅菌したパールコア®トリプトソイブイヨン培地‘栄研’又は滅菌生理食塩水で調整する。

2．妨害物質・交差反応性

1）純培養菌を用いるので、雑菌汚染のない限り特に影響するものはない。

2）2種類以上の菌が含まれた被検菌を用いると、阻止円が2重になったり、また目的菌の薬剤感受性が測定できないことがある。

【用法・用量（操作方法）】

1．試薬の調製方法

KBディスク®‘栄研’は、室内温度に十分戻してからビンから取り出し使用する。

2．必要な器具・器材・試料等

1）滅菌生理食塩水（菌液調製用）

2）増殖用培地（パールコア®トリプトソイブイヨン培地‘栄研’等）

3）感受性試験用培地（パールコア®ミュラーヒントンS寒天培地‘栄研’等）

4）McFarland標準濁度0.5の懸濁液（標準菌濁度液A‘栄研’）

5）その他（シャーレ，白金耳，滅菌綿棒，ディスペンサー，フラン器，ノギス，ピンセット）

3．測定（操作）法

＊1）感受性試験用培地

ポアメディア®ミュラーヒントンS寒天培地，ポアメディア®ミュラーヒントンSヒツジ血液寒天培地，ポアメディア®ヘモフィルステスト寒天培地（HTM）又は以下の調製した培地を使用する。

パールコア®ミュラーヒントンS寒天培地‘栄研’を、使用方法に従い適量を溶解し、121℃で15分間滅菌した後、45～50℃に冷却して培地の厚さが4mmになるように分注し、平板に固める。内径8.5cmのシャーレでは25mL，角シャーレ1号では75mLを分注すると、培地の厚さはほぼ4mmとなる。

本培地は腸内細菌科，*Vibrio cholerae*，*Pseudomonas aeruginosa*，*Acinetobacter*属菌，*Stenotrophomonas maltophilia*，*Burkholderia cepacia*，*Staphylococcus*属菌及び*Enterococcus*属菌に使用する。肺炎球菌，β溶血レンサ球菌，ビリダンスレンサ球菌及び髄膜炎菌の感受性試験には滅菌，冷却したパールコア®ミュラーヒントンS寒天培地‘栄研’にヒツジ脱線維素血液を5%の割合に添加して調製した血液寒天培地を用いる。CLSIでは*Haemophilus*属菌，淋菌の試験には専用の培地を指定している[3), 4)]。

（1）*Haemophilus*属菌の試験：

滅菌，冷却したパールコア®ミュラーヒントンS寒天培地‘栄研’に次のサプリメントを添加する。15μg/mL β-NAD，15μg/mL bovine又はporcine hematin，5g/L yeast extract

（2）淋菌の試験：

GC培地に次のサプリメントを1%に添加する。

1.1g L-cystine，0.03g guanine HCl，3mg thiamine HCl，13mg PABA，0.01g vitamin B12，0.1g cocarboxylase，0.25g NAD，1g adenine，10g L-glutamine，100g glucose，0.02g ferric nitrate，25.9g L-cysteine HCl

以上を精製水1,000mLに溶解してろ過滅菌する。

2）菌液の調製

一夜培養した非選択寒天培地上の被検菌体を釣菌して滅菌生理食塩水又はパールコア®トリプトソイブイヨン培地‘栄研’等に懸濁する方法（直接法）と、一旦、被検菌体をパールコア®トリプトソイブイヨン培地‘栄研’等から調製した液体培地4～5mLに接種して35±2℃で2～6時間培養した後、滅菌生理食塩水又はパールコア®トリプトソイブイヨン培地‘栄研’で菌液濃度を調整する方法（増殖法）とがある。菌種別の菌液調製法は、CLSIに記載されている方法に従う[3)]。いずれの場合も、菌液濃度はMcFarland標準濁度0.5と同じ濁度に合わせる。

3）菌液の接種

2）で調製した被検菌液を調製後15分以内に、1）で調製した寒天平板上に滅菌綿棒で均一に塗抹する。被検菌液に綿棒を浸した後、試験管の内壁上部に綿球を強く押しつけて数回まわし、過剰の菌液を取り除く。

培地を分注、凝固させた円形シャーレでは、上記の綿棒を用いて寒天平板全面に塗抹した後、平板を60°回転させ再度塗抹し、更に60°回転させ塗抹する。また、角シャーレ1号は、たてに置き、たて中央に直線状に画線し、次いで左右上下に塗り広げ、均一に塗抹する。更にシャーレの上下を180°回転させ、綿棒を被検菌液に再度浸した後、この方法をもう1度くり返す。

4）KBディスクを置く

ディスペンサーを用いて、被検菌を接種した寒天平板上にディスクを置く。その際、菌液を塗抹した寒天平板は3～5分間静置し15分までの間にディスクを置く。寒天平板上に斜線で印刷されたディスクが現われたときには新しいカートリッジに交換する。

ディスペンサーを用いない場合は、カートリッジからピンセット等を用いてディスクを取り出し、ディスクとディスクの間が 24mm 以上になるように寒天平板上に置く。
ディスクは平板培地上に完全に密着させること。

＊５）培養

ディスクを置いた寒天平板は、ディスク設置後 15 分以内にフラン器に入れ、下記に示す条件でそれぞれ培養する。

菌　名	菌液調製	培 養 条 件
腸内細菌科，*P. aeruginosa*，*V. cholerae*	直接法又は増殖法	35 ± 2℃；好気環境；16～18 時間
Acinetobacter 属菌，*B. cepacia*，*S. maltophilia*	直接法又は増殖法	35 ± 2℃；好気環境；20～24 時間
＊ *Staphylococcus* 属菌	直接法	35 ± 2℃（MRS は 35℃を超えると検出できない場合がある）；好気環境；16～18 時間（オキサシリン，バンコマイシンの場合は24時間、*S. aureus*, *S. lugdunensis*のセフォキシチンは16～20時間，CNS（*S. lugdunensis* を除く）のセフォキシチンは24時間）
Enterococcus 属菌	直接法又は増殖法	35 ± 2℃；好気環境；16～18 時間（バンコマイシンの場合は24時間）
Haemophilus 属菌	直接法	35 ± 2℃；5%CO_2環境；16～18 時間
肺炎球菌，β 溶血レンサ球菌，ビリダンスレンサ球菌，髄膜炎菌	直接法	35 ± 2℃；5%CO_2環境；20～24 時間
淋菌	直接法	36 ± 1℃（37℃を超えない）；5%CO_2環境；20～24 時間

６）阻止円の測定

完全に菌の発育が阻止されている阻止円の直径をシャーレの裏側からノギスでミリ単位まで測定し、小数点以下は四捨五入する。その際、黒地をバックに反射光を用いて測定する。ただし、*Staphylococcus* 属菌のオキサシリンディスク，バンコマイシンディスク，リネゾリドディスク及び *Enterococcus* 属菌のバンコマイシンディスクは透過光を用いて測定する。血液寒天培地等の不透明な培地を使用した場合には、シャーレのふたを取って反射光で培地表面から測定する。

＜測定にあたっての注意＞

１）サルファ剤系ディスクでは、阻止円内に薄い発育が観察されるが、これは培地中の拮抗物質によるため無視したうえで、明白な円の辺縁を測定する。

２）CLSI で要求されている、専用菌株を用いての精度管理試験でディスクが正しい阻止円を示さない場合は、全ての操作手順を確認すること。

【測定結果の判定法】

計測した阻止円の直径を判定基準（別表）と照合して、感性，中間及び耐性と判定する。

【性　能】

１．性 能

１）感度・正確性

日本薬局方外医薬品規格第一部その２、一般試験法、力価試験法、Ⅱ標準曲線法に準じて力価試験を行うとき、表示量の 85 ～ 135%に対応する各薬剤を含む。

２）同時再現性

操作方法に従い、感性及び耐性菌を含む試験菌 3 株について、感受性試験を各々 3 回ずつ行い、阻止円の直径を判定基準と照合して判定するとき、感受性菌は感性の成績を、また耐性菌は耐性の成績を示す。

２．測定範囲

感性，中間及び耐性

３．相関性試験成績

本製品で測定した感受性試験成績と、日本化学療法学会：微量液体希釈による MIC 測定法との試験成績は相関する[5)]。

４．較正用基準物質に関する情報

本製品は、アメリカン　タイプ　カルチュアー　コレクション（ATCC）に収載されている菌株により性能を確認している。

【使用上又は取扱い上の注意】

１．取扱い上（危険防止）の注意

１）全ての操作は微生物の取扱いに習熟した人の指導のもとに、バイオハザード対策を実施したうえで行うこと。

２）検体（被検菌）及び培養物等は感染の危険があるものとして十分に注意して取り扱うこと。

３）感染を避けるため、検査時は使い捨て手袋を着用すること。

４）口によるピペッティングはしないこと。

２．使用上の注意

１）ディスクは指定の貯蔵方法で保存すること。

２）使用期限を過ぎたディスクは使わないこと。

３）ディスクは汚染しないように無菌的に取り扱うこと。

４）開封後はなるべく早く（約 2 ヵ月以内に）使用すること。

５）ディスクの吸湿，直射日光への暴露は抗菌薬の力価低下の原因となるため、注意すること。

６）使用後はディスペンサーにカートリッジを装着した状態のまま、乾燥剤が入った専用ボックスに入れて冷暗所（15℃以下）に保存する。又はディスペンサーから取り外したカートリッジを、乾燥剤の入ったデシケーターに入れて冷暗所（15℃以下）に保存する。使用中のカートリッジは、カートリッジの入っているビンにもどさないこと。

３．廃棄上の注意

１）使用後の培地類は、オートクレーブ等で滅菌処理した後、廃棄すること。オートクレーブを使用する場合は、蒸気を吸い込まないように注意すること。

＊２）検体に接触した器具や廃液等は、次亜塩素酸ナトリウム溶液（有効塩素濃度 1,000ppm 以上，1 時間以上浸漬）又はグルタールアルデヒド（2%，1 時間以上浸漬）による消毒処理、あるいはオートクレーブ（121℃，20 分間以上）による滅菌処理を行うこと。ただし付属機器についてはその取扱説明書に従うこと。

３）試薬ボトルはガラス、キャップはブチルゴム、乾燥剤はシリカゲル、カートリッジは ABS 樹脂、栓はポリエチレン（PE）、ケースは紙を主な材質としている。

４）滅菌後のシャーレや器具等は、医療廃棄物等に関する規定及び、水質汚濁防止法等の各種規制に従い、各施設の責任において処理すること。

【貯蔵方法・有効期間】

貯蔵方法：15℃以下
有効期間：別表参照

【包装単位】

51 枚×２カートリッジ

【主要文献】

１）Bauer, A.W., et. al.: Am. J. Clin. Pathol., **45**：493-496, 1966.

２）WHO：Technical Report Series, **610**：98-178, 1977.

＊３）Clinical and Laboratory Standards Institute：CLSI Approved Standard Tenth ed., M2-A10, 2009.

＊４）Clinical and Laboratory Standards Institute：CLSI Nineteenth Informational Supplement, M100-S19, 2009.

５）社内資料

【問い合わせ先】

栄研化学株式会社　お客様相談窓口
フリーダイヤル　0120-308-421

【製造販売業者の名称及び住所】

栄研化学株式会社
〒329-0114　栃木県下都賀郡野木町野木 143 番地

製造販売元　栄研化学株式会社
栃木県下都賀郡野木町野木 143 番地

340005-Z

＊＊＊別表　（15℃以下製品）

系統		販売名 KB ディスク®‘栄研’	KB ディスクろ紙略号	構成試薬	成分名	薬剤含有量	製品コード	有効期間	適応菌種	判定基準：阻止円の直径（mm） 耐性	中間	感性
β-ラクタム系抗菌薬	ペニシリン系	ベンジルペニシリン	PC	PCG	ベンジルペニシリンカリウム	10U	E-DF13	1年間	*Staphylococcus* 属菌	≦ 28	–	≧ 29
									Enterococcus 属菌	≦ 14	–	≧ 15
									淋菌	≦ 26	27 – 46	≧ 47
									β 溶血レンサ球菌	–	–	≧ 24
		オキサシリン	MPI	MPIPC	オキサシリンナトリウム	1μg(力価)	E-DF07	1年間	黄色ブドウ球菌	≦ 10	11 – 12	≧ 13
									肺炎球菌（PSSP スクリーニング用）	–	–	≧ 20
		アンピシリン	ABP	ABPC	アンピシリンナトリウム	10μg(力価)	E-DF14	1年間	腸内細菌科 */V. cholerae*	≦ 13	14 – 16	≧ 17
									Staphylococcus 属菌	≦ 28	–	≧ 29
									Enterococcus 属菌	≦ 16	–	≧ 17
									Haemophilus 属菌	≦ 18	19 – 21	≧ 22
									β 溶血レンサ球菌	–	–	≧ 24
		アモキシシリン	AMP	AMPC	アモキシシリン	25μg(力価)	E-DF50	1年間	腸内細菌科	≦ 13	14 – 17	≧ 18
									Staphylococcus 属菌 */Haemophilus* 属菌	≦ 19	–	≧ 20
		アスポキシシリン	ASP	ASPC	アスポキシシリン	100μg(力価)	E-DF81	1年間		≦ 16	17 – 19	≧ 20
		ピペラシリン	PIP	PIPC	ピペラシリンナトリウム	100μg(力価)	E-DF18	1年間	*P. aeruginosa*	≦ 17	–	≧ 18
									腸内細菌科 */Acinetobacter* 属菌	≦ 17	18 – 20	≧ 21
	セフェム系 セファロスポリン系（注射用）	セファロチン	CET	CET	セファロチンナトリウム	30μg(力価)	E-DF03	1年間	腸内細菌科 */Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 17	≧ 18
		セファゾリン	CEZ	CEZ	セファゾリンナトリウム	30μg(力価)	E-DF21	1年間	腸内細菌科 */Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 17	≧ 18
		セフォチアム	CTM	CTM	塩酸セフォチアム	30μg(力価)	E-DF33	1年間		≦ 14	15 – 17	≧ 18
		セフォペラゾン	CPZ	CPZ	セフォペラゾンナトリウム	75μg(力価)	E-DF22	1年間	腸内細菌科 */P. aeruginosa / Staphylococcus* 属菌	≦ 15	16 – 20	≧ 21
		セフォタキシム	CTX	CTX	セフォタキシムナトリウム	30μg(力価)	E-DF23	1年間	腸内細菌科 */P. aeruginosa/Acinetobacter* 属菌 */ Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 22	≧ 23
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 26
									淋菌	–	–	≧ 31
									β 溶血レンサ球菌	–	–	≧ 24
									ビリダンスレンサ球菌	≦ 25	26 – 27	≧ 28
									髄膜炎菌	–	–	≧ 34
		セフチゾキシム	CZX	CZX	セフチゾキシムナトリウム	30μg(力価)	E-DF34	1年間	腸内細菌科 */P. aeruginosa / Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 19	≧ 20
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 26
									淋菌	–	–	≧ 38
		セフメノキシム	CMX	CMX	塩酸セフメノキシム	30μg(力価)	E-DF35	1年間		≦ 14	15 – 21	≧ 22
		セフタジジム	CAZ	CAZ	セフタジジム	30μg(力価)	E-DF26	1年間	腸内細菌科 */P. aeruginosa / Acinetobacter* 属菌 */Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 17	≧ 18
									B. cepacia	≦ 17	18 – 20	≧ 21
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 26
									淋菌	–	–	≧ 31
		セフトリアキソン	CRX	CTRX	セフトリアキソンナトリウム	30μg(力価)	E-DF36	1年間	腸内細菌科 */P. aeruginosa/Acinetobacter* 属菌 */ Staphylococcus* 属菌	≦ 13	14 – 20	≧ 21
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 26
									淋菌	–	–	≧ 35
									β 溶血レンサ球菌	–	–	≧ 24
									ビリダンスレンサ球菌	≦ 24	25 – 26	≧ 27
									髄膜炎菌	–	–	≧ 34
		セフォジジム	CDZ	CDZM	セフォジジムナトリウム	30μg(力価)	E-DF67	1年間		≦ 16	17 – 19	≧ 20
		セフピロム	CPR	CPR	硫酸セフピロム	30μg(力価)	E-DF74	1年間		≦ 14	15 – 17	≧ 18
		セフェピム	CFP	CFPM	塩酸セフェピム	30μg(力価)	E-DF84	1年間	腸内細菌科 */P. aeruginosa/Acinetobacter* 属菌 */ Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 17	≧ 18
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 26
									淋菌	–	–	≧ 31
									β 溶血レンサ球菌	–	–	≧ 24
									ビリダンスレンサ球菌	≦ 21	22 – 23	≧ 24
		セフォゾプラン	CZP	CZOP	塩酸セフォゾプラン	30μg(力価)	E-DF83	1年間		≦ 16	17 – 19	≧ 20
	セフェム系 セファロスポリン系（経口用）	セファレキシン	CEX	CEX	セファレキシン	30μg(力価)	E-DF43	1年間		≦ 14	15 – 17	≧ 18
		セファクロル	CCL	CCL	セファクロル	30μg(力価)	E-DF54	1年間	腸内細菌科 */Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 17	≧ 18
									Haemophilus 属菌	≦ 16	17 – 19	≧ 20
		セフィキシム	CFI	CFIX	セフィキシム	5μg(力価)	E-DF59	1年間	腸内細菌科	≦ 15	16 – 18	≧ 19
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 21
									淋菌	–	–	≧ 31
		セフチブテン	CTB	CETB	セフチブテン	30μg(力価)	E-DF72	1年間	腸内細菌科	≦ 17	18 – 20	≧ 21
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 28
		セフジニル	CFN	CFDN	セフジニル	5μg(力価)	E-DF73	1年間	腸内細菌科 */Staphylococcus* 属菌	≦ 16	17 – 19	≧ 20
									Haemophilus 属菌	–	–	≧ 20
		セフロキシム	CXM	CXM	セフロキシムナトリウム	30μg(力価)	E-DF25	1年間	腸内細菌科 */Staphylococcus* 属菌	≦ 14	15 – 22	≧ 23
									Haemophilus 属菌	≦ 16	17 –19	≧ 20

系統		販売名 KBディスク®‘栄研’	KBディスクろ紙略号	構成試薬	成分名	薬剤含有量	製品コード	有効期間	適応菌種	判定基準：阻止円の直径（mm） 耐性	中間	感性
β-ラクタム系抗菌薬	セフェム系 セファロスポリン系（経口用）	セフポドキシム	CPX	CPDX	セフポドキシムナトリウム	10μg(力価)	E-DF75	1年間	腸内細菌科 /*Staphylococcus* 属菌	≦17	18－20	≧21
									Haemophilus 属菌	－	－	≧21
									淋菌	－	－	≧29
		セフテラム	CFTM	CFTM	塩酸セフテラム	10μg(力価)	E-DF98	1年間		≦12	13－15	≧16
		セフカペン	CFPN	CFPN	セフカペンナトリウム	5μg(力価)	E-DF87	1年間		≦17	18－22	≧23
		セフジトレン	CDT	CDTR	セフジトレンナトリウム	5μg(力価)	E-DF79	1年間		≦12	13－18	≧19
	セファマイシン系	セフォキシチン	CFX	CFX	セフォキシチン	30μg(力価)	E-DF08	1年間	黄色ブドウ球菌 /*S. lugdunensis*	≦21	－	≧22
									コアグラーゼ陰性 *Staphylococcus* 属菌（*S. lugdunensis* を除く）	≦24	－	≧25
		セフメタゾール	CMZ	CMZ	セフメタゾールナトリウム	30μg(力価)	E-DF37	1年間	腸内細菌科 /*Staphylococcus* 属菌	≦12	13－15	≧16
									淋菌	≦27	28－32	≧33
		セフミノクス	CMN	CMNX	セフミノクスナトリウム	30μg(力価)	E-DF91	1年間		≦15	16－19	≧20
	オキサセフェム系	ラタモキセフ	LOX	LMOX	ラタモキセフアンモニウム	30μg(力価)	E-DF24	1年間	腸内細菌科 /*P. aeruginosa*/ *Staphylococcus* 属菌	≦14	15－22	≧23
		フロモキセフ	FOX	FMOX	フロモキセフナトリウム	30μg(力価)	E-DF69	1年間		≦12	13－17	≧18
	ペネム系	ファロペネム	FRPM	FRPM	ファロペネムナトリウム	5μg(力価)	E-DF88	1年間		≦12	13－15	≧16
	カルバペネム系	イミペネム	IPM	IPM	イミペネム	10μg(力価)	E-DF55	1年間	腸内細菌科 /*P. aeruginosa*/ *Acinetobacter* 属菌 /*Staphylococcus* 属菌	≦13	14－15	≧16
									Haemophilus 属菌	－	－	≧16
		パニペネム	PAP	PAPM	パニペネム	10μg(力価)	E-DF77	1年間		≦12	13－17	≧18
		メロペネム	MPM	MEPM	メロペネム三水和物	10μg(力価)	E-DF85	1年間	腸内細菌科 /*P. aeruginosa*/ *Acinetobacter* 属菌 /*Staphylococcus* 属菌	≦13	14－15	≧16
									B. cepacia	≦15	16－19	≧20
									Haemophilus 属菌	－	－	≧20
									髄膜炎菌	－	－	≧30
		ビアペネム	BIPM	BIPM	ビアペネム	10μg(力価)	E-DG05	1年間		≦14	15－19	≧20
		ドリペネム	DRPM	DRPM	ドリペネム水和物	10μg(力価)	E-DG11	1年間	腸内細菌科 /*P. aeruginosa*/ *Staphylococcus* 属菌	≦13	14－15	≧16
									Haemophilus 属菌	－	－	≧16
		＊テビペネム	TBPM	TBPM	テビペネム水和物	10μg(力価)	E-DG15	1年間	*Staphylococcus* 属菌	≦19	20－21	≧22
									Haemophilus 属菌	－	－	≧22
	モノバクタム系	アズトレオナム	AZT	AZT	アズトレオナム	30μg(力価)	E-DF38	1年間	腸内細菌科 /*P. aeruginosa*	≦15	16－21	≧22
									Haemophilus 属菌	－	－	≧26
	合剤	クラブラン酸・アモキシシリン	ACV	CVA/AMPC	クラブラン酸カリウム	10μg(力価)	E-DF31	1年間	腸内細菌科	≦13	14－17	≧18
					アモキシシリン	20μg(力価)			*Staphylococcus* 属菌 /*Haemophilus* 属菌	≦19	－	≧20
		スルバクタム・アンピシリン	S/A	SBT/ABPC	スルバクタムナトリウム	10μg(力価)	E-DF65	1年間	腸内細菌科 /*Acinetobacter* 属菌 / *Staphylococcus* 属菌	≦11	12－14	≧15
					アンピシリンナトリウム	10μg(力価)			*Haemophilus* 属菌	≦19	－	≧20
		タゾバクタム・ピペラシリン	T/P	TAZ/PIPC	タゾバクタム	10μg(力価)	E-DG03	1年間	腸内細菌科 /*Acinetobacter* 属菌	≦17	18－20	≧21
					ピペラシリンナトリウム	100μg(力価)			*P. aeruginosa*	≦17	－	≧18
									Staphylococcus 属菌	≦17	－	≧18
									＊*Haemophilus* 属菌	－	－	≧21
		スルバクタム・セフォペラゾン	S/C	SBT/CPZ	スルバクタムナトリウム	30μg(力価)	E-DF68	1年間		≦15	16－20	≧21
					セフォペラゾンナトリウム	75μg(力価)						
ストレプトグラミン系		キヌプリスチン / ダルホプリスチン	Q/D	QPR/DPR	キヌプリスチン / ダルホプリスチン	15μg	E-DG06	1年間	*Staphylococcus* 属菌 /*Enterococcus* 属菌 / 肺炎球菌 / *S. pyogenes*/ ビリダンスレンサ球菌	≦15	16－18	≧19
オキサゾリジノン系		リネゾリド	LZD	LZD	リネゾリド	30μg	E-DG04	1年間	*Staphylococcus* 属菌	－	－	≧21
									肺炎球菌 /β 溶血レンサ球菌 / ビリダンスレンサ球菌	－	－	≧21
									Enterococcus 属菌	≦20	21－22	≧23
その他		ホスホマイシン	FOM	FOM	ホスホマイシンナトリウム	50μg(力価)	E-DF48	1年間	5)	≦11	12－14	≧15
		ムピロシン	MUP	MUP	ムピロシン	5μg(力価)	E-DG01	1年間		≦13	－	≧14

・構成試薬名は、日本化学療法学会の略号と同じである。

・薬剤の系統は、日本化学療法学会に準じた分類である。

＊・判定基準は、CLSI Document M100-S19，及びその他の文献を参考に作成している。